



保育教諭が街に出て子育ての悩みを解決！ 「すくすく子育て応援隊」 相談件数 1,000 人突破！

市の公立認定こども園では、子育て中の保育教諭が「すくすく子育て応援隊」を結成し、市内の商業施設で子育て相談に応じています。

平成29年5月に開始したこの取組は、約半年間で1,000人以上の新米ママさんに声をかけ、11月末時点で1,184件となりました。



また、みなさんからの相談をまとめたパンフレットも作成し好評を得ています。
取材等よろしくお願ひします。

【すくすく子育て応援隊活動予定】

日時 毎週火曜日の午前10時～11時30分・午後2時～3時30分

場所 イオン貝塚店・コープ貝塚店

日時 毎週木曜日の午前10時～11時30分・午後2時～3時30分

場所 オークワ貝塚三ツ松店・松源貝塚鳥羽店

問合せ先
市立木島認定こども園
電話 072-446-4139
担当：杉本

声かけ、子育て相談1000件突破

貝塚市でも少子化傾向が進んでいる中、公立幼稚園では、園児の人数が年中児・年長児ともに一桁の人数で運営している園があり、市の幼稚園等再編計画の中で、3園が平成28年度末で廃園しました。小学校区に就学前教育施設がなくなると、地域の過疎化が進み、若者の定住等に関してマイナス効果も危惧されることから、平成29年度より公立保育所4か所を公立認定こども園に移行することで各地域（校区）における就学前教育の再編をはかることとなりました。それに伴い、在園児のみならず貝塚市に在住している全ての就学前の子どもを育てている保護者を対象に、子育て支援を行うという役割が新たに追加されました。

貝塚市は公・民を問わず子育てに関して講習会（応急手当・子どもとの過ごし方・遊び・親子体操など）や親子で楽しめる行事、様々なサークル活動をはじめ、3館ある子育て支援センターではそれぞれ活発に活動しています。

また、子育て応援券の配布もされ、受け皿としての子育て支援は充実しています。

それらを利用できる方は、子育ての悩みをきいてもらえたり相談する機会もありますが、自ら出向いていけない保護者への支援が課題です。

そこで

『受け皿としての子育て支援ではなく、保育教諭が自ら出向いて子育て支援をする』

という大きなテーマを掲げ、二つの柱を作りました。

1. 家庭に閉じこもりがち、孤立しがちな保護者の支援をする
2. 普通に子育てしている中で起こり得る些細な「これってこれでいいのかな？」の疑問や不安に応え自信を持って子育てをしてもらう

報道提供資料

保護者のおもいを共有できるよう中堅で子育て真っ最中の保育教諭4名を「すくすく子育て応援隊」と名付け、濃いピンクに貝塚市のイメージキャラクター「つげさん」をあしらったエプロンを着け、のぼりを持って活動を始めました。「どんな家庭でも買い物には出かけるのでは」ということで貝塚市内の大手スーパーにお願いし駐車場等で子育て中とみられる親子にできる限り声をかけて毎日の子育ての様子を聞いていきました。また、施設内で展示スペースをもらい、簡単に作れる手作りおもちゃを紹介するとともに、いろいろな子育てに関する話をすることもできました。

「忙しいから」とチラシだけを受け取って通り過ぎていく方もいましたが「離乳食を始めたけど食べてくれない」「何でもイヤイヤと言って困ってしまう」「トイレトレーニングってどうやって始めるの？」など様々な疑問や悩みをかかえていることが改めて感じられました。

親の思いを受けとめて「そうやねえ」「大変やよね」と聞くだけの時もあれば「こんなふうにしてみたら？」と具体的な方法を伝えたり、公立認定こども園の園庭開放や子育て支援センターの取り組みを紹介したりしています。

地域とのつながりが希薄な新米ママが身近な相談相手を見つけたり、また不慣れな子育てによる子どもの発達への影響や子育て不安から児童虐待等の深刻な事態にならないよう、保育教諭のノウハウを活用して子育て支援をしています。

また、市の開催している行事や親子の遊んでいそうな公園に出向いて声かけしたり、子育て支援センターなどで子育てワンポイントのミニ講座もしています。

始めて半年が経ち、商業施設で声をかけた人数が1000人を超えました。

(11月末で1184件)

顔見知りの方もでき保護者の方から声をかけてくれたり「前に相談したことが解決しました」と報告してくれたりする以外に

・話すだけですっきりしました

報道提供資料

- ・ こういうところ（商業施設）で話を聞いてもらえて助かります
- ・ 子育て世代以外の方が「自分の子どもが小さい時にこんな風に話せる人がいたらよかったな」

「いいことしてますね。がんばって」

- ・ 他市の方から「貝塚市は、いい取り組みをしてますね」
 - ・ 教えてもらったおもちゃを家でお兄ちゃんと作ってみました。楽しかったです。
- 等の感想もいただいています。

子育て情報が氾濫している中でどれが正しいのか、どの方法を取り入れればいいのか迷っておられる方が多く具体的に解決策を提供することで毎日の子育てに反映できるようです。

聞き取った悩みをもとに項目ごとにパンフレットを作成し配布もしています。

9月から市の保健センターで行っている1歳7か月健診にも加わり子育て相談を始めました。そこで相談を受けた方には後日電話し、希望があれば訪問させてもらっています。

そこでは、子どもと一緒に遊んだり、絵本を読み聞かせたりする中で、「あっ！こうすればいいんですね」と、保護者が実際に見る事で子どもへの関わり方のヒントになっています。

今後は、訪問支援の充実をはじめ、おじいちゃん・おばあちゃんの孫育て、父親の子育てへの応援などニーズに応じた子育て支援をしていきたいと思えます。